

令和元年度 みんなで支える森林づくり南信州地域会議
(第2回) 実施概要

1 開催予定日時場所 令和2年3月5日(木) 13時～
飯田合同庁舎

2 出席予定者

【委員】

柄澤弘子、木下光、下平勝熙、原一樹、間瀬稔、松下勝彦 各委員

【南信州地域振興局】

局長 丹羽克寿、林務課長 三澤雅孝 ほか林務課職員

3 実施内容

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止し、各委員の皆様にご意見をいただきました。

(1) 会議資料

ア 「長野県森林づくり県民税に関する基本方針」の改正の概要

イ 長野県森林づくり県民税活用事業一覧(南信州地域)

ウ 令和2年度森林づくり県民税活用事業について

(2) 委員の皆様からの主な意見等

【森林税活用事業実績関係】

- ・ライフライン等保全是地域で必要とされている事業。施行箇所の多さや、予算要求額の増加は評価できる。今後も、活用についての周知を要望。
- ・市町村職員に対し、他市町村の活用事例などを含めた森林税活用事業メニューを周知すれば、それにより地域の「痛み」を森林税活用事業で解消できる事例が増えると感じている。
- ・「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山整備、また、自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用などは、森林税が有意義に使われている。一方、活動フィールド整備事業は、施行後の活用状況に疑問が残る。

【その他森林税全般関係】

- ・補助対象者が、SNSなどを通じ「森林税でこんなことが出来た」と発信するよう工夫してはどうか。
- ・薪やチップなど、家や身の周りのものの木質化以外に「量」が期待できるモノをターゲットにしていかなければ、間伐材の利用増を期待出来ないのではないか。
- ・シカ等による森林被害も深刻な問題。獣害に強い里山づくりに森林税を活用出来ないか。
- ・環境問題に積極的に取り組む県内企業を表彰したり、活動状況をアピールしたりすることが望ましい。また、企業による森林づくりを提案してはどうか。